



解禁日時	ラジオ・テレビ インターネット	平成30年7月31日（火） 17:00解禁
	新聞	平成30年8月1日（水）朝刊から

平成30年7月26日（木） 岐阜県発表資料

担当課	担当係	担当者	電話番号
学校支援課	教科教育第一係	川瀬 秀樹 山田 高秀	内線 3696 直通 058-272-8843 FAX 058-278-2822

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について、下記のとおり結果を取りまとめましたのでお知らせします。

### 記

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査の対象学年（以下の学年の原則として全児童生徒を対象）

- ・小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

### 3 調査の内容

#### （1）児童生徒に対する調査

- ・教科(国語、算数・数学、理科)に関する調査：国語、算数・数学については、A問題(知識)、B問題(活用)の区分がある。理科はA問題、B問題を一体的に出題。
- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

#### （2）学校に対する調査

- ・学校における指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

### 4 調査日 平成30年4月17日（火）

### 5 岐阜県において調査を実施した学校・児童生徒数（公立学校）

校種	学校数	児童生徒数
小学校	371校	約17,850人
中学校	184校	約17,780人

\*「学校数」には、義務教育学校の前期課程、後期課程及び県立特別支援学校の小学部、中学部を含み、国立、私立学校は含まない。

\*児童生徒数は調査の内容により、参加した人数が異なるため、「約」としている。

## II 岐阜県における調査結果

### 1 児童生徒の学力の状況について

#### (1) 平均正答率

- ・小学校では、国語A・B、理科は全国の平均正答率を上回っており、算数A・Bは全国の平均正答率をやや下回っている。
- ・中学校では、国語B、数学A・B、理科は全国の平均正答率をやや上回っており、国語Aは全国の平均正答率と同程度である。

調査問題	小学校		中学校	
	岐阜県	全国	岐阜県	全国
国語A(知識)	72	70.7	76	76.1
国語B(活用)	56	54.7	62	61.2
算数A・数学A(知識)	63	63.5	67	66.1
算数B・数学B(活用)	51	51.5	49	46.9
理科	61	60.3	68	66.1

\* 県の平均正答率については、文部科学省から整数値で提供を受けている。

\* 理科については、A問題、B問題を一体的に出題。

#### (2) 平均正答率の推移

① 小学校第6学年 \*平成29年度以降、文部科学省から整数値で提供を受けているため、差は算出していません。

- ・国語Aは、平成20年度以降、全国の平均正答率を下回るか同程度にとどまっていたが、今年度は上回った。
- ・国語Bは、平成27年度から、全国の平均正答率を上回る数値で推移している。
- ・算数A・Bの平均正答率の全国との差は、昨年度より縮まった。
- ・理科は、平成27年度は全国の平均正答率と同等であったが、今年度はやや上回った。

	平成26年度			平成27年度			平成28年度			→ 【整数値による公表】	平成29年度		平成30年度	
	岐阜	全国	差	岐阜	全国	差	岐阜	全国	差		岐阜	全国	岐阜	全国
国語A	70.2	72.9	▲2.7	67.8	70.0	▲2.2	73.0	72.9	0.1	74	74.8	72	70.7	
国語B	54.8	55.5	▲0.7	65.9	65.4	0.5	58.8	57.8	1.0	58	57.5	56	54.7	
算数A	76.9	78.1	▲1.2	73.8	75.2	▲1.4	77.2	77.6	▲0.4	77	78.6	63	63.5	
算数B	56.9	58.2	▲1.3	43.6	45.0	▲1.4	46.7	47.2	▲0.5	45	45.9	51	51.5	
理科	—	—	—	60.8	60.8	0.0	—	—	—	—	—	61	60.3	

② 中学校第3学年 \*平成29年度以降、文部科学省から整数値で提供を受けているため、差は算出していません。

- ・国語B、数学A・Bは、全国の平均正答率を上回る数値で推移している。
- ・国語Aは、昨年度までは全国の平均正答率を上回っていたが、今年度は同程度である。
- ・理科は、平成27年度同様、全国の平均正答率を上回っている。

	平成26年度			平成27年度			平成28年度			→ 【整数値による公表】	平成29年度		平成30年度	
	岐阜	全国	差	岐阜	全国	差	岐阜	全国	差		岐阜	全国	岐阜	全国
国語A	79.8	79.4	0.4	76.4	75.8	0.6	75.8	75.6	0.2	79	77.4	76	76.1	
国語B	52.0	51.0	1.0	68.3	65.8	2.5	69.1	66.5	2.6	74	72.2	62	61.2	
数学A	69.8	67.4	2.4	65.7	64.4	1.3	63.5	62.2	1.3	66	64.6	67	66.1	
数学B	61.3	59.8	1.5	44.2	41.6	2.6	46.2	44.1	2.1	50	48.1	49	46.9	
理科	—	—	—	56.8	53.0	3.8	—	—	—	—	—	68	66.1	

## 2 児童生徒の授業に対する意識について【児童生徒質問紙調査から】

- ・各項目とも全般的に、中学校の数値が高い傾向にある。
- ・新しい学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいる状況が表れている。
- ・理科の学習について、生活の中での活用を考えたり、将来に役立てようとしたりすることについて肯定的に回答する児童生徒の割合が高い。
- ・算数・数学の学習について、生活の中での活用を考えたり、新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと考えたりするなど、学びに向かう力について課題がある。

\* 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)

下段( )は、平成29年度の数値、理科については平成27年度の数値です。

\* 本年度については、質問数が大幅に削減され、国語に関する質問項目については実施されませんでした。

質問項目	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。	79.1 (81.9)	76.7 (77.9)	2.4 (4.0)	79.5 (80.5)	73.8 (74.9)	5.7 (5.6)
児童(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	78.3 (69.6)	77.7 (68.2)	0.6 (1.4)	79.3 (67.2)	76.3 (64.8)	3.0 (2.4)
算数・数学の授業の内容はよく分かる。	83.3 (80.8)	83.4 (80.6)	▲0.1 (0.2)	74.5 (72.6)	71.0 (69.4)	3.5 (3.2)
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。	64.1 (69.8)	64.4 (69.1)	▲0.3 (0.7)	40.3 (46.4)	38.7 (45.3)	1.6 (1.1)
算数・数学の勉強は好きだ。	62.7 (64.1)	64.0 (65.9)	▲1.3 (▲1.8)	55.9 (56.6)	53.9 (55.4)	2.0 (1.2)
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい。(小学校のみ)	73.2 (74.7)	74.3 (75.7)	▲1.1 (▲1.0)			
数学ができるようになりたい。(中学校のみ)				93.3 (91.9)	92.5 (91.2)	0.8 (0.7)
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ。	90.6 (90.0)	90.3 (89.1)	0.3 (0.9)	75.0 (73.6)	72.9 (72.4)	2.1 (1.2)
理科の授業の内容はよく分かる。	90.9 (88.9)	89.4 (87.9)	1.5 (1.0)	73.1 (70.4)	70.0 (66.8)	3.1 (3.6)
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。	67.1 (71.9)	64.7 (69.3)	2.4 (2.6)	49.2 (49.7)	45.4 (46.9)	3.8 (2.8)
理科の勉強は好きだ。	85.2 (83.5)	83.5 (83.5)	1.7 (0)	67.2 (66.8)	62.9 (61.9)	4.3 (4.9)
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ。	74.5 (77.4)	72.9 (74.5)	1.6 (2.9)	57.3 (55.3)	55.7 (54.3)	1.6 (1.0)

### 3 各学校における指導改善への取組状況について【学校質問紙調査から】

・小学校において、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全教職員が協力して指導改善に向けた取組を行ってきたことが、児童生徒の学力や学習状況の改善につながっている。

\* 以下の質問について、選択肢「よく行った」「行った（どちらかといえば、行っている）」「ほとんど行っていない」のうち、「よく行った」「行った（どちらかといえば、行っている）」と回答した学校の割合(%)

\* 下段( )は平成29年度の数値

質問項目	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した。	99.2 (98.4)	97.6 (96.6)	1.6 (1.8)	96.7 (96.8)	96.1 (94.4)	0.6 (2.4)

\* 以下の質問について、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」「あまり行っていない」「全く行っていない」のうち、「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)

\* 下段( )は平成29年度の数値

児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	98.3 (97.0)	94.9 (91.5)	3.4 (5.5)	98.4 (95.1)	93.1 (87.8)	5.3 (7.3)
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた。	91.7 (86.3)	89.7 (83.3)	2.0 (3.0)	86.4 (73.1)	83.6 (75.2)	2.8 (▲2.1)

### Ⅲ 岐阜県教育委員会の取組

- 特に、学習内容の定着が不十分な児童生徒への手厚い指導について「指導改善資料」などを作成し、県内全体の指導改善を図ってきた。
- 平成29年度から、小学校算数における「教科学習Webシステム」を運用し、授業や家庭学習における児童生徒の活用を促してきた。
- 大学教員等の専門的な見地から調査結果を客観的に分析し、分析した結果をもとに市町村教育委員会と連携して改善事項を明確にするとともに、学校訪問における指導・助言に活用してきた。

#### 教育長コメント

平成30年度の調査結果をみると、小・中学校ともに、概ね全国平均を上回っているものの、小学校算数及び中学校国語の一部に課題がみられる状況です。

今回の結果を分析し、それぞれの市町村教育委員会や学校において、子ども一人一人の学力を一層伸ばす指導に取り組めるよう、支援していきたいと考えています。



(2) 算数・数学

① よくできていた問題の例

問題の概要		正答率
小学校 算数 A 1(2)	0.4 mの重さが60 gの針金があり、その針金1 mの重さを求める場面で、重さや長さの数量の関係を数直線上に表す問題。 	岐阜県：74.2% 全国：66.7%  全国差：7.5
中学校 数学 A 3(1)	一元一次方程式を解く際に、右の①から②のように「移項」をしてもよい理由を選択する問題。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math display="block">6x - 3 = 9 \quad \dots\dots ①</math> <math display="block">6x = 9 + 3 \quad \dots\dots ②</math> <math display="block">6x = 12</math> <math display="block">x = 2</math> </div>	岐阜県：70.0% 全国：64.0%  全国差：6.0

② 課題が見られた問題の例

問題の概要		正答率
小学校 算数 A 7(1)	円周率を求める式として正しいものを選択する問題。 1 円周の長さ × 半径の長さ 2 円周の長さ × 直径の長さ 3 円周の長さ ÷ 直径の長さ 4 直径の長さ ÷ 円周の長さ	岐阜県：34.8% 全国：41.6%  全国差：▲6.8
小学校 算数 B 5(1)	輪飾りをつくる際に、折り紙が100枚あれば足りる理由について、示された説明を解釈して、その説明の続きを記述する問題。 	岐阜県：40.6% 全国：43.2%  全国差：▲2.6
中学校 数学 A 14(1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5 cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ問題。 ア 35人の運動靴のうち、最も大きい運動靴のサイズは25.5 cmである。 イ 35人の運動靴のうち、最も小さい運動靴のサイズは25.5 cmである。 ウ 35人の運動靴のサイズの合計を35でわると、25.5 cmである。 エ 35人の運動靴をサイズの小さい順に並べると、小さい方から18番目の運動靴のサイズが25.5 cmである。 オ 35人の中で最も多くの人がはいている運動靴のサイズは25.5 cmである。	岐阜県：62.3% 全国：68.4%  全国差：▲6.1

(3) 理科

① よくできていた問題の例

問題の概要		正答率				
<p>小学校 理科 4(4)</p>	<p>実験結果から言えることについて、課題に正対した内容について記述する問題。</p> <p>ゆかりさんは、実験の結果からいえることを、下のようにまとめました。</p> <p>【実験の結果からいえること】 水にとけた物は蒸発しない。</p> <p>この実験の結果からそまていっていいのかな？</p> <p>まもるさん</p> <p>(4) ゆかりさんが【実験の結果からいえること】としてまとめた内容は、【問題】に対するままととしてふさわしくありません。ふさわしいままとめになるように書き直しましょう。</p>	<p>岐阜県：40.4%</p> <p>全国：35.9%</p> <p>全国差：4.5</p>				
<p>中学校 理科 4(2)</p>	<p>炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を書く問題。</p> <p>【実験】 表1のように、変える条件と変えない条件を決めて、炎の色と金網につくススの量を調べる。</p> <table border="1"> <caption>表1</caption> <tr> <td>変える条件</td> <td>空気の量</td> </tr> <tr> <td>変えない条件</td> <td>ガスの量、<input type="text" value="X"/>、.....</td> </tr> </table>	変える条件	空気の量	変えない条件	ガスの量、 <input type="text" value="X"/> 、.....	<p>岐阜県：49.8%</p> <p>全国：44.1%</p> <p>全国差：5.7</p>
変える条件	空気の量					
変えない条件	ガスの量、 <input type="text" value="X"/> 、.....					
<p>中学校 理科 4(3)</p>	<p>化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルをかき直す問題。</p>	<p>岐阜県：54.6%</p> <p>全国：49.4%</p> <p>全国差：5.2</p>				

② 課題が見られた問題の例

問題の概要		正答率
<p>小学校 理科 1(4)</p>	<p>人の腕が曲がる仕組みを説明した模型について正しく述べているものを選択する問題。</p> <p>のびたようす</p> <p>曲げたようす</p>	<p>岐阜県：55.0%</p> <p>全国：56.6%</p> <p>全国差：▲1.6</p>
<p>小学校 理科 4(3)</p>	<p>食塩を溶かして体積が増えた食塩水について、物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを根拠に選択する問題。</p> <p>あれ？400 mLの水に食塩を2gと加したら、できた食塩水は400 mLより多くなるのではないかな？</p> <p>まもるさん</p> <p>そこで、できた食塩水の量をメスシリンダーではかってみると、408 mLになっていました。</p>	<p>岐阜県：35.9%</p> <p>全国：42.7%</p> <p>全国差：▲6.8</p>



## 2 特徴的な調査問題とその正答率

### (1) 国語

#### ○小学校【A問題8】

8 矢野さんは、見学したことをノートにまとめています。次の【ノートの一部】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【ノートの一部】

おかし店の見学に行つて分かつたこと

○ 調理場には、生地を練る機械など、ア せい造に必要な セつ備がある。

○ 衛生を保つために、調理器具などを一日に何度 ウ しょう毒する。

○ お客さんにおいしいおかしを食べてもらうために、品質をしっかりと エ かん理している。

○ 地元の野菜や果物などを使った新しいおかしを オ せつ極的に開発している。

(問い)

【ノートの一部】の ア から オ の        部は、どのような漢字を使って書きますか。       部と同じ漢字を        部に使つて書く文として最も適切なものを、次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ア 1 せい 限時間に気をつける。  
 2 新せい 品の価格を調べる。  
 3 道具箱 の中を せい 理する。

#### ■問題の概要

学習の基礎となる漢字を正しく読み、正しく書き、文や文章の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。(見学に行つて分かつたことをノートにまとめる場面)

#### ■正答率

岐阜県：71.0% (全国：73.4%)

#### ○中学校【B問題2】

2 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】、【発表の直前の場面】と、それに続く【発表・質問の場面の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【発表の直前の場面】

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな

南さん

山川さん

【発表・質問の場面の一部】

これから「ロボットに期待すること」について発表します。こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。

私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを想像しに励みになりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。ここまでで何か質問はありますか。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。

南さん 大野さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

【資料】

ロボットに期待すること

1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット

動物型のロボット

2 ロボットができることの例

二 南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。実際に話すように一つ書きなさい。

#### ■問題の概要

話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することができるかどうかをみる問題。(総合学習でロボットについて調べたことを発表する場面)

#### ■正答率

岐阜県：88.5% (全国：88.3%)

(2) 算数・数学

○小学校【B問題2】(2)

玉入れゲームの説明

- ・ 同じ人数の2チームに分かれる。
- ・ 合図とともに、それぞれのかごに玉を投げ入れる。
- ・ 落ちている玉は何回拾って投げてもよい。
- ・ 玉入れゲームは2回行い、入った玉の個数を1回ごとに数え、その合計の数が多いほうが勝ち。



1回の玉入れゲームの時間を、次の式で求めます。

$$\text{玉を投げる時間} + \text{入った玉を数える時間} = \text{1回の玉入れゲームの時間}$$

入った玉は1個あたり2秒で数えることにします。

表

玉を投げる時間	入った玉の個数	入った玉を数える時間	1回の玉入れゲームの時間
40 秒	51 個	102 秒	142 秒
50 秒	64 個	秒	秒
60 秒	80 個	秒	秒

玉を投げる時間を  秒にすればよい。

(2) 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするためには、玉を投げる時間を、40秒、50秒、60秒のどれにすればよいですか。

入った玉を1個あたり2秒で数えることとし、下の表にある4つの□の中にあてはまる数を書きましょう。

そして、〔 〕の中には、40、50、60のいずれかの数を書きましょう。

■問題の概要

示された考え方を数学的に解釈し、1回の玉入れゲームの時間を3分に近づけるために、玉を投げる時間を表に整理して、条件に合う時間を判断する問題。

■正答率

岐阜県：47.9% (全国：47.9%)

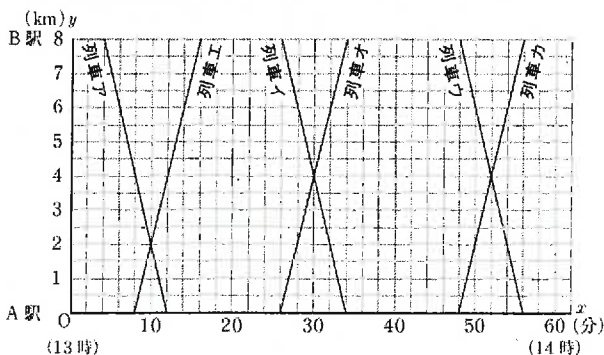
○中学校【B問題3】(3)

調べたこと

- A駅からB駅までの道のりは8kmである。
- 13時台の列車の発着時刻は、次のようになっている。

	B駅発	A駅着		A駅発	B駅着
列車ア	13:04	13:12	列車エ	13:08	13:16
列車イ	13:26	13:34	列車オ	13:26	13:34
列車ウ	13:48	13:56	列車カ	13:48	13:56

太一さんが作ったグラフ



(3) 太一さんは、A駅からの道のりが6kmの地点にある鉄橋を通る列車アと列車エの写真を撮りたいと考えています。

このとき、A駅からの道のりが6kmの地点において、列車アが通ってから列車エが通るまでにおよそ何分かかるかは、太一さんが作ったグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

■問題の概要

ダイヤグラムを数学的に解釈して、ある地点において、列車アが通ってから列車エが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する問題。

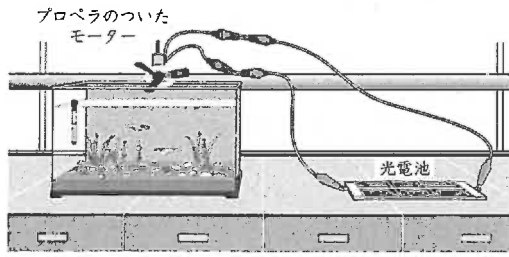
■正答率

岐阜県：12.7% (全国：13.2%)

(3) 理科

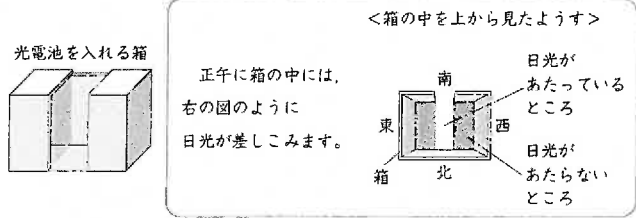
○小学校【3】(4)

ひろしさんたちは、水温を下げるために、光電池で回るプロペラで起こした風を使うことにしました。



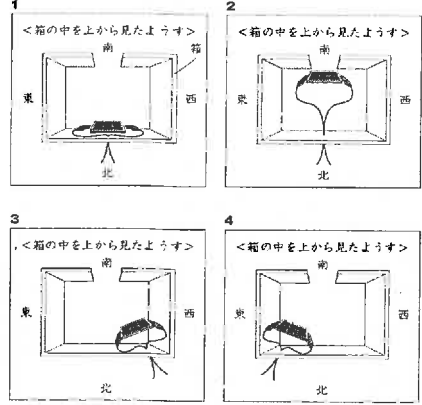
光電池の置き方を工夫して、午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにできないかな。  
やす子さん

そこで、ひろしさんたちは、光電池を下のような切れこみの入った箱の中に入れて、日光のあたり方を調整することにしました。



正午だと箱の中に、このように日光が差しこみ、日光があたっているところとあたらないところができるね。  
ひろしさん

(4) 午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのように置けばよいと考えられますか。下の1~4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

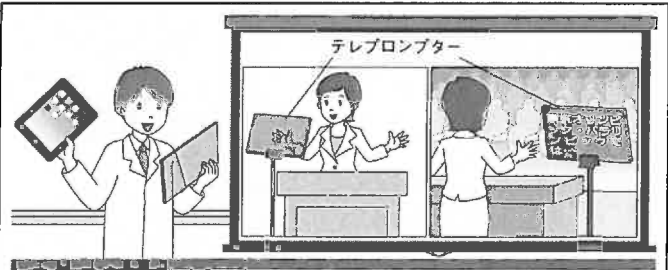


**■問題の概要**  
太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係について、目的に合ったものづくりに適用させる問題。

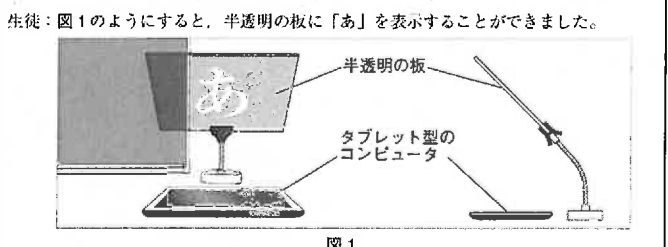
**■正答率**  
岐阜県：43.5% (全国：41.9%)

○中学校【1】(1)

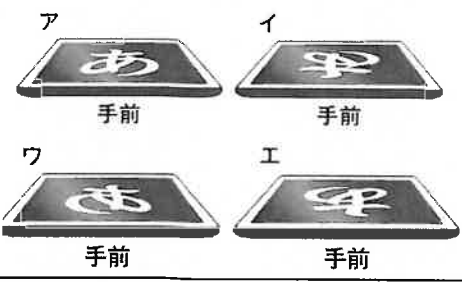
テレプロンプターのモデルをつくる場面



先生：光の反射を利用したテレプロンプターは、話し手からは文字が見えて、聞き手からは文字が見えない機器です。  
タブレット型のコンピュータと半透明の板を使って、テレプロンプターのモデルをつくり、光の進み方について学習していきましょう。



(1) 図1のように「あ」を半透明な板に表示したとき、タブレット型のコンピュータの画面として適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



**■問題の概要**  
テレプロンプターのモデルをつくり、半透明の板に反射してみえる像に対して投影する像を考え、選択する問題。

**■正答率**  
岐阜県：62.6% (全国：61.7%)